

あさか開成高等学校オーストラリア海外研修 4 日目 (7/18)

今日からバディとの授業が始まりました。朝から緊張する、どうしよう、との声があふれており、これからが生徒たちの正念場です。

待ち合わせ場所に現れたバディに一人一人生徒を紹介し、早速教室に連れて行ってもらいます。バディが来るたびに、次はだれが呼ばれるか？と期待と不安が入り交じった様子でした。

授業は、美術、音楽、生物、化学など日本にあるもののほか、メディアやビジネスと言った内容のものまであったようで、多くは先生の英語が早すぎて理解することは難しかったようです。初日にレッスンをしてくれた Lisa や Cristy、そしてホストファミリーがどれだけゆっくり、わかりやすく自分たちに話しかけてくれていたかも改めて感じたのではないのでしょうか。現地のコーディネーターからは授業が始まる前に、内容はわからなくてもいいので日本との違いを見つけてみて、とのアドバイスがありました。授業の内容を理解するのではなく、あくまで授業に参加し、オーストラリアの授業スタイルを知ったり、生徒との交流を目的にいたりしてほしいという思いです。先生も細かいことを気にしないなど、生徒の授業態度も日本と比べると随分自由だったと驚いていました。

バディとは、最初から色々と質問をし合いコミュニケーションを取れた生徒もいますが、自己紹介が終わるとなかなか会話が進まなかったという生徒も多くいました。今日はまだ、あさか開成の生徒を見つけるとつい近づいて話してしまったり、ランチも日本人同士固まってしまったりする傾向がありました。これからどれだけバディとの距離を縮められるかが、今後の課題となりそうです。

こちらでの生活は、日本と比べ、予定していたことが変わることが多くあります。生徒たちにも柔軟性のある臨機応変な行動が求められるのですが、今までの様子を見ていると、何事にも動じない度胸がある生徒が多いように感じます。今日も数人のバディが欠席しており、急遽違うバディになると言われましたが、問題なく受け入れていました。バディとの時間は自分一人の挑戦となるため、更なる成長の機会となることと思います。

明日は、ランチタイムの時間に、バディを招いたプレゼンテーションを予定しており、授業後にその練習をしました。英語の発音は Lisa が指導をしてくれ、より自信を持って発表に臨めそうです。



朝の風景



バディを待つ生徒たち



プレゼンテーションの練習①



プレゼンテーションの練習②



学校内にて集合写真



ホストファミリーのお迎え